

「モクコレ」に出展して

細田木材工業株式会社
木製インテリア事業部
部長 小川 晃

1月30、31日の2日間、ビックサイトで東京都主催の「2018モクコレ」が開催されました。モクコレとはウッド(モク)コレクションの意味です。

モクコレのオリジンは東京の多摩の森を守るために企画された多摩産材利用展示会が始まりの様です。その後、オリンピックが東京で行われることを契機に日本最大の木材消費地である東京にもっと多くの木材をとるという東京都の趣旨から2016年に第1回モクコレが浅草の都立産業貿易センタービル台東館で東京都、長野県、岐阜県の3都県で開催されました。

2017年は東京ドームシティホールで13都県の参加があり、充実した展示会となりました。そして、2018年の今回は東京ビックサイトで全国の33都道府県が参加という、しかも、今回初めて東京都小池知事がオープニングに出席という盛大な催しとなりました。セレモニーでは小池知事が主催者の挨拶を行いました。続いて、ご来賓として林野庁牧元次長、(一社)全国木材組合連合会吉条会長のご祝辞があり、そして、テープカットならぬ多摩の杉丸太カットをご来賓3名と全国森林組合会長、出展者代表として長野県代表、経済・港湾委員会委員長(都議)、2018ミスみどりの女神の4名を加え計7名で行われました。丸太をカット中、小池知事の笑顔などもあり、木の香りのする会場は和やかな雰囲気の中で開場となりました。展示は丸太など素材から建築材料、家具、雑貨など様々な木材製品を33都道府県324企業・団体がそれぞれの工夫で特徴を凝らした展示となっております。加工技術の進歩による木材加工製品や不燃木材など高機能化木材など国産材に特化した展示会にはない規模でした。

さて、私たち東京都の展示について、「2017モクコレ」の時、静岡県が仕切りをなくして、県としてまとまった展示をしていたのを見た時に凄い存在感があり、来場者の注目を集めていました。これに倣い今回の出展は個々の企業での仕切りをなくして何社かまとまった展示をしたら良いのではという提案をいただいております。細田木材工業も単独のブースでの出展申請を出しておりましたが、東京木材市場買方組合・東友会様より同じグループでの展示のお誘い頂きましたので同じブースに展示させていただくことになりました。ひと月前に新宿の多摩産材利用拡大フェアがあったばかりで同じ展示内容では来ていただいたお客様が素通りしてしまうのではないかとという心配がありました。そこで、ストーリー性と楽しさを持った展示内容にすることでまとまりました。入口の近くには多摩の自然を紹介する画像とバーチャル画像が楽しめるコーナーを設けました。そして真ん中には多摩産杉テーブルを置き、檜原産紅茶を味わってもらうようにしました。テーブルの周りには多摩産材で作った階段板と曲線の美しい手すりを展示しました。その奥に多摩産杉で作ったホワイトボードとして使う「きえすぎくん」を置いて

実際に書いたり消したりを体験して貰いました。その隣には、NECと共同研究をしている木の漢字を読み取ると読み方や写真が出てきて目で見ると樹木事典になるという面白い研究なども実演を交えて紹介していました。このように、楽しくて大変魅力ある展示コーナーになり、お客様が絶えることがありませんでした。また、開場直後に小池知事が我々のコーナーに訪れて東友会の青木会長のアテンドにより大勢のプレスの前で「きえすぎくん」に「TOKYO」と書いて頂いたので大きなPRとなりました。

来場者は初日が2,000名、2日目も2,000名(東京都発表)でした。東京木材市場株式会社・市川社長、(一社)全国木材市売り買方組合連盟・早川会長、東京都森林組合・木村組合長のご支援のおかげと出展企業の皆様が一つのブースで協力をしながら東京の魅力ある木材利用のPRをする初めてのケースではありましたが無事終了できました。

「きえすぎくん」の誕生について

木のホワイトボードの「きえすぎくん」は2016東京ビジネスデザインアワードに「東京の自然を豊かに」をテーマに多摩産材を使用した製品の開発で応募したのが始まりです。木に関心あるデザイナーから、従来の無味乾燥で無機質なホワイトボードでなく、木のホワイトボードが提案されました。その要望に基づいて製作されたのが多摩産杉ホワイトボードです。幸いアワードでテーマ賞を受賞することが出来ました。それから開発を始めましたが、マーカーで書いた跡が既存のホワイトボードのように消えないので一旦やむなく中止となりました。その後、試行錯誤を何回も重ね、改良ボードの開発を進め、木質感があり既存のホワイトボードと同じようにマーカーが消えるまでによりよくなりました。現在、多摩産スギの色や木目 欠点を全量チェックして同じ色、似た木目を選別してから加工しています。手間暇かかる作業ではありますが、心地よく使っていただくためには大切な作業と考えています。

近くに御寄りの際は当社ショールームにお越しいただき、この多摩産杉ホワイトボードに実際書いて、消してみてください。

以上



モクコレ オープニング セレモニー
テープカットならぬ、多摩産杉丸太のログカット
写真提供：東京木材市場（株）



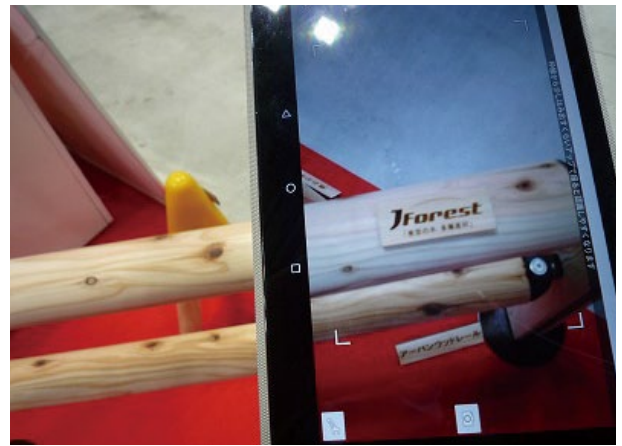
東友会ブースに来られ、小池知事が「きえすぎくん」にTokyoと書く



きえすぎくん前に小池知事と東友会の青木会長



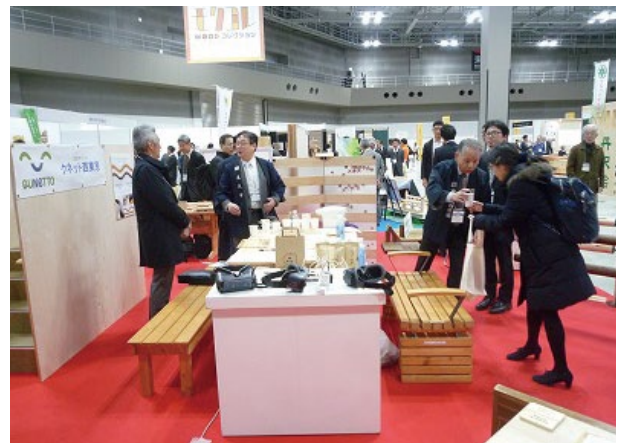
モクコレ多摩の森の画像が楽しめるバーチャルコーナー



多摩産丸棒



木の漢字



檜原紅茶